

本件は、大阪科学・大学記者クラブと
大阪教育記者クラブに同時資料提供を行います。

平成 24 年 10 月 17 日
株式会社海遊館 広報チーム
〒552-0022 大阪市港区海岸通 1
TEL06-6576-5529 FAX06-6576-5551
<http://www.kaiyukan.com/>
(担当：村上、田井)



高校生と研究者が、サメ・エイの研究成果を発表！

「サメ・フォーラム」の参加者を募集します

大阪市港区の海遊館では、平成 24 年 12 月 9 日（日）午前 10 時より、サメ・フォーラム「サメ・エイの世界を知りたい～^{ばんさいるい}板鯰類多様性研究の今と未来～」を開催します。フォーラムは、サメ・エイ類の第一線の研究者による講演と宮城県気仙沼向洋高等学校をはじめとする高校生による研究発表で構成しており、海洋生物に関心をお持ちの方 200 名の参加を募集します。メールまたはファックスでのご応募で、締め切りは 11 月 25 日（日）です。

サメ・フォーラムは、海と地球の未来に欠くことができない生物多様性をサメやエイの世界からみることをテーマとして、サメ・エイ類の研究者で構成される日本^{ばんさいるい}板鯰類研究会と国立大学法人長崎大学、そして海遊館が協力して開催します。第一線の研究者による講演では、不思議で多様なサメの世界について、わかりやすく興味深いお話を聞くことができます。また、大阪府、長崎県、宮城県の高校生が、サメやエイの調査活動を発表します。本フォーラムの開催により、サメやエイの世界に興味を持っていただき、海の将来を考える機会になればと考えています。

1. 【プログラム】

1. 研究者による講演

- (1) 「サメはどのような生き物（多様なサメの世界を知ろう）」仲谷一宏（北海道大学名誉教授）
- (2) 「サメの進化と多様性（多様なサメの世界はいつ、どのように誕生した?）」
後藤友明（岩手県水産技術センター・板鯰類研究会）
- (3) 「水族館から見るサメの世界」北谷佳万（海遊館）

2. 高校生による研究発表

- (1) 「シャーク・アンド・レイ」大阪府立茨木高等学校
- (2) 「有明海産エイ類に関する研究」長崎県立長崎鶴洋高等学校
- (3) 「気仙沼のサメ漁獲状況と食文化について」宮城県気仙沼向洋高等学校

3. パネルディスカッション「サメの魅力と今後の研究の展開について」

進行：田中彰（東海大学教授）

パネリスト：沼口麻子（ジャーナリスト）、山口敦子（長崎大学教授）

西田清徳（海遊館館長）、高校生ほか

2. 【サメ・フォーラム」募集要項】

- 開催日 平成24年12月9日(日)
時間 午前10時～15時(予定)
場所 海遊館、エントランスビル2階「海遊館ホール」(無料スペース)
対象 小学生以上(小学生は、18歳以上の保護者同伴が必要)
定員 200名(先着順)
参加費 無料(海遊館の入館には別途入館料が必要)
申込方法 メールまたはファックスに、①氏名、②年齢(学年)、③居住地域(都道府県)、
④連絡先(電話番号またはメールアドレス)、⑤合計参加人数をご記入ください。

〈申込先メールアドレス〉 sameforum@kaiyukan.com

〈申込先FAX〉 06-6576-5540

※お申込み順に参加登録いたします。

※ご応募いただいた方全員に Fax または E-mail で参加の可否を連絡させていただきます。

※募集にあたって収集した個人情報にはフォーラムのみに使用します。

締め切り 平成24年11月25日(日)17時必着

問い合わせ 海遊館電話インフォメーション 06-6576-5501(9:30～17:00)

3. 【「日本板鰐類研究会」について】

日本板鰐類研究会は、日本における板鰐類(サメやエイ類)に関する調査研究の進歩と普及を図ることを目的につくられた学会です。会員数はおよそ200名で、大学等の研究者や学生をはじめ、さまざまな分野で活躍されている方々によって構成されています。

活動のひとつとして、およそ2年おきにシンポジウムやフォーラムを開催しています。発表される研究分野は、分類、系統、形態、分布、遺伝、生理、生態、行動など多岐にわたり、毎回、多数の研究発表を行っています。